

別記

1. 基金の名称 (仮称) 歴史と未来の交流館建設基金
2. 基金の対象施設 (又は事業) (仮称) 歴史と未来の交流館建設事業
3. 基金造成に係る交付決定状況

(単位：円)

基金 造成 年度	交付決定		交付金の額の確定			
	交付決定年月日	交付決定通知 文書番号	確定年月日	確定通知 文書番号	確定額	うち基金造成額
平成28年度	平成28年12月26日	20161024関東第53号	平成29年3月1日	20170216関東第31号	700,000,000円	700,000,000円

(備考) 造成年度が2以上ある場合は、必要に応じ欄を設けること。

(注) 用紙の大きさは、日本工業規格に定めるA4とし、横位置とすること。

別紙

事業評価報告書

1. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	開始・完了 年月日	総事業費	うち基金充当額	備考
	(仮称) 歴史と未来の交流館建設事業	茨城県東海村	令和元年6月3日～ 令和3年1月29日	1,063,700,000	700,000,000	

(備考) 事業が2以上ある場合は、必要に応じ欄を設けること。

2. 事業評価個表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	基金事業実施場所					
	(仮称) 歴史と未来の交流館建設事業	茨城県東海村	大字村松地内					
基金事業の概要		(仮称) 歴史と未来の交流館建設工事						
基金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		本村では第5次総合計画後期基本計画の政策4-2「村民が気軽に生涯学習や生涯スポーツ，歴史・文化に触れ合えるまちをつくる」に掲げるとおり，生涯学習施設の充実を図るとともに，子どもから大人まで全ての村民が，ふるさとの誇りや生きがいを持って暮らすことのできる環境整備に取り組むこととしています。その具体的な取り組みの方向性として，施策4-2-1「文化財の保存・活用を図る」，施策4-2-2「生涯学習・文化・スポーツを振興する」，施策4-2-3「青少年の健全育成を推進する」を掲げておりますが，既存の生涯学習施設では，機能面や設備面はもとより，スペース上の問題からも，施策の達成が難しい状況にあります。このことから，新たに「(仮称) 歴史と未来の交流館」を建設することで，その具現化を図り，もって村民の福祉の向上を図るものです。						
事業開始年度		令和元年度		事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由								
基金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標			単位	評価年度	令和3年度	
	来館者数15,000人／年度	(仮称) 歴史と未来の交流館の来館者数	成果実績	人	23,751			
			目標値	人	15,000			
			達成度	%	158.3%			
	評価年度の設定理由							
	令和3年7月から開館し，令和3年度中に成果を確認するため。							
	基金事業の定性的な成果及び評価等							
	無							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
基金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	年度	年度	年度
	工事量 (歴史と未来の交流館建設工事)	活動実績	式	1	1			
		活動見込	式	1	1			
		達成度	%	100.0%	100.0%			
基金事業の総事業費等		令和元年度	令和2年度	年度	年度	年度	年度	備考

総事業費	376,851,200円	686,848,800円				
基金充当額	200,000,000円	500,000,000円				
うち文部科学省分	0円					
うち経済産業省分	200,000,000円	500,000,000円				
基金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
第31-29-102-K-001号（仮称）歴史と未来の交流館建設工事（建築工事）及び外構工事		一般競争入札	秋山・河野特定建設工事共同企業体		1,063,700,000	
基金事業の担当課室	教育委員会生涯学習課					
基金事業の評価課室	総合戦略部政策推進課					